



市政懇談会の一コマ



自然探訪教室 (安比高原)



明老大学移動研修 (奥州市)



交通安全を呼び掛ける矢沢小学校の皆さん



会長 中島 健次

ごあいさつ

矢沢地域振興会
令和2年度は、文字通りコロナに明け、コロナで暮れた一年でした。個人の生活はもとより世界中でのあらゆる分野が翻弄されました。矢沢地域コミュニティも例外ではありませんでした。多くの事業、行事が中

止、縮小を余儀なくされました。さらに地域の伝統行事、親睦の場等々枚挙にいとまがありません。そうした中でも、関係団体の取り組み、地域の皆さんの協力により、安全、安心の地域づくりをはじめ、住環境の整備、地域福祉の充実などを推進することができました。また地域振興会の分野である生涯学習も多くの制約があるなか、なんとか実施することができました。感謝を申し上げます。

さて令和3年度、心新たに新年度を迎えることを心から願っていました。全国的にコロナの拡大はまだ衰えず、花巻市もレベル3の状態。公共施設の利用制限をはじめ様々な制約が継続中。なんともやるせない思いですが、命、健康に優るものはなく現状を受け入れつつも、工夫をし、細心の注意を払いながら事業を実施して参りたいと思います。住みよい地域づくりには終わりはありません。歩みを止めることはありません。今後とも力を合わせて進んでいこうではありませんか。

矢沢地域情報誌

やまぼろひ

発行/矢沢地域振興会(矢沢振興センター)内 内容・A29・5480

No. 36

2021年6月1日

mail: yashinkai025@gmail.com

25年間の指導員を終えて



矢沢学童クラブ前指導員 佐藤 千秋

3月をもって25年間勤めた矢沢学童クラブを退職しました。高木団地旧集会所内で働く親たちの願いで立ち上がった平成8年4月。ゼロではなくマイナスからのスタートは想像を越える劣悪な環境と条件でした。備品一つ購入できず持ち寄り品は当たり前。段ボール箱が靴箱であり、ロッカーであり本棚でした。児童数の増加と共に移転運動が始まり議員さん始め矢沢地区の方々のお力添えを頂き平成11年7月矢沢小学校内の余裕教室へ入居できました。同時に国でも法的整備が始まり平成28年に指針のもとに位置付けられ、働く職員は専門職と認められるようになりました。

25年という月日は多くの苦労もあり決して順風満帆ではありませんでしたが、少しでもより良い環境を子どもたちにといい保護者の熱い思いと、子どもたちの笑顔、そして応援してくださる地域の

方々、私の家族が支えてくれました。思い出のアルバムには少しずつ整備されていく様子が納められた子どもたちと出会い、過ごせたことは幸せな保育生活でもありました。それはひとえに子どもたちを守る、安全で安心な放課後の生活を保障してあげようという地域の方々の思いにほかありません。たくさんのご尽力を頂きました。ここをこの場をお借りして御礼申し上げます。

今後も矢沢の子どもたちの生活が泣いたり笑ったりケンカしたりしながら健やかに成長し、保護者の方々が安心してお仕事ができる学童でありますように願っています。本当にありがとうございます。



病院への通院や 買い物などで 困っていませんか？

高松第三行政区
ふるさと地域協議会
会長 神山 儀悦

あなたは、病院や買い物に行くとき、どういう交通手段で行っていますか？

「前はバスが走っていたが、なくなってしまった」

「バスが走っていても、ひざが痛くてバス停まで歩けない」

「荷物があるとバスから降りた後が大変だ」

「タクシーを頼むにもお金が」

昨年10月におこなった花巻市社会福祉協議会矢沢支部の「やさわのふくしを考えるアンケート調査」でも、「いま困っていることや、不便に感じていることはありませんか」に多くの方が「移動手段（通院・買い物）に関する」と答えています。

病院への通院や買い物など

に困っている人たちのために、何か有効な解決策はないものでしょうか。

高松第三行政区ふるさと地域協議会では「移動手段がなくて困っている人たち」のために、平成30年度から^{※①}花巻市の補助を受け、住民主体で地域の高齢者の「足」を確保し、病院への通院やスーパーへの買い物、用足しなどの支援をおこなっています。

また、令和2年度からは、花巻市の補助対象外だった免許返納者や元気高齢者を対象に^{※②}「中山間地域等直接支払制度第5期対策・集落機能強化加算」を活用して外出支援をおこなっています。利用料金は、いずれも距離に関係なく1人500円です。

外出支援の話をする
と、必ず出る質問があり
ます。

○白タク行為で違反になる
のではないかと？

↓法律的に「許可・登録
を要しない運送」が認

められています。
○事故が起きたらどうす
るのか？

↓共済や保険が充実して
います。

○ドライバーがいない？

↓複数の人を登録して都
合の良い人が対応する
仕組みを作れば大丈夫。

これからますます進む少子高齢化の中で、みんなが支え合う仕組みを作り、住みなれた地域で安心して暮らしていきたいものです。

高松第三行政区で取り組んでいる外出支援について、「どうすれば出来るのか」を知りたい方は、下記の花巻市担当課までお問い合わせください。

※①花巻市の補助

花巻市介護予防・日常生活支援総合事業（通称：総合事業）のこと。既に市内8地区で実施しており、令和3年度からは補助金の増額と事務手続きが簡素化されます。

問い合わせは、花巻市長寿

福祉課（Tel 41-3576）へ

※②「中山間地域等直接支払制度第5期対策・集落機能強化加算」

令和2年度から新たに「集落機能強化加算」が始まりました。この加算は「営農に関するもの以外」という条件があり、対象活動として「サロンの開設」「高齢者の見回り」「送迎」「買い物支援」「高齢者世帯の除雪」「農福連携」などに使う場合に加算されます。

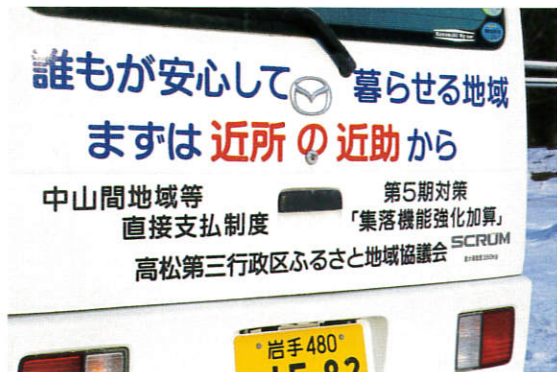
花巻市内には山の組織（集落協定）があります。令和2年度の取り組みは高松第三行政区内の3つの集落協定（平良木、内高松、母衣輪）のみでしたが、令和3年度は市内で新たに取り組む集落協定があります。

問い合わせは、花巻市農村

林務課（Tel 23-1400）へ

※高松第三行政区ふるさと地域協議会の活動に関してのお問い合わせは、事務局の熊谷哲周（携帯090-4638-9764）までお願いします。

令和3年5月作成



小学校コーナー

中学校コーナー

矢沢の豊富な資源を活かし 矢沢を誇れる子に

花巻市立矢沢小学校
校長 谷村 晴子



矢沢小学校の子どもたちと対面して7日目、3年生の子

どもたちと胡四王山に出かけました。「ヒメギフ探検」と名付けられた4月早々の探検は、カタクリの花の良い頃に、その蜜を吸いに飛び交うヒメギフチョウを観察するための探検です。当日は、3名の地域講師の方々に山頂周辺の自然について教えていただきながら、目当てのヒメギフチョウを探しました。

この時期開花しているカタクリの多さと美しさに驚きました。また、トウゴクサイシンの葉に産み付けられた、真珠のようなヒメギフチョウの卵にも、興奮しました。小さく可愛い卵は、子どもたちが自力で見つけるのは困難なお宝で、講師の先生方の目と感覚があつてこそ、見ることがで

きたものでした。

その後、お弁当を食べる子どもたちに、ヒメギフチョウが姿を見せてくれ、子どもたちは、大満足で帰校しました。市の天然記念物であるヒメギフチョウの群棲地としても貴重で、賢治さんもよく足を運んだことでも知られる胡四王山が学区の中にあるなんて、とても素敵なことですので、地域の方々が、その価値を伝えるために、子どもたちの学習活動に関わってくださっていることに感激です。



学習だけではありません。4月のスタートから、子どもたちの登下校を見守ってくださる地域の方々、交通安全教室の度に指導して下さる方々等、子どもたちが安全に過ごせるよう、力を注いでくださ

さつている方々にも恵まれています。ありがたいことです。今年度も新型コロナウイルスはまだまだ収まりそうもなく、子どもたちの教育活動や生活面での不安要素がたくさんです。そんな時なのですが、地域の方々が、子どもたちの学習や生活を支えてくださっていると感じられることが、私たちの実践の自信にもつながっています。

始業式で、「やる気満々、さわやかに活動し、わかるまで、できるまで学ぶやさわの子」を合言葉に様々な活動に取り組もうと、子どもたちに伝えました。これからの学校生活を通して、矢沢地域の良いところ、面白いもの、偉人はもちろん現在進行形で活躍している人等、自慢できることをたくさん見つけて、「矢沢が大好き。」と地域を誇れる子どもたちの育成を念頭に、教育活動を進めてまいります。何卒ご協力をお願いいたします。

私自身も地域の方々に関わりながら、矢沢地域のことを学んでいきたいと思えます。どうぞよろしく願います。

「誇り」をもって

花巻市立矢沢中学校
校長 佐々木 律夫



4月6日、76名の新生を迎え、全校生徒196名で令和3年度がスタートいたしました。

今年度久慈市立山形中学校から参りました佐々木律夫です。よろしく願っています。さて、本校には3つの根本精神があります。校是の「本立未治」、生徒会スローガンの「堅忍不拔」、元北海道大学総長島善鄰先生からいただいた「一隅を照らす」です。

それぞれ言葉には人としてどのように歩いていくのか、人としてどうあるべきなのかを示して



おり、人間の本来の価値ある言葉だと思えます。この言葉は矢沢中に送られた道しるべだと思えます。この言葉を胸に矢沢中生には「矢沢中が大好き」「矢沢中の生徒でよかった」そんな誇りを一人一人がもって欲しいと願っています。誇りをもつという事は自分自身を信じることで、同時に周りの人から信頼される人になるということなんです。知識や能力だけでなく人間性も優れているということなんです。人間はたくさん失敗から多くのことを学ぶことができます。中学校時代はまさに人として大きく成長できるチャンス時代でもあります。私も子ども達と一緒に矢沢中の「誇り」をもつ一人の人間でありたいと思えます。どうぞよろしく願います。



わが同好会の紹介⑩
サタデイ卓球同好会の栄枯盛衰

会長 及川 傳

そもそも当卓球同好会の歴史は古く、遡ること数十年、生涯学園都市会館（まなび学園）のシニア大学36期生が学びながら健康保持のため何か運動しませんかという呼びかけに呼応し、卓球なら軽度な運動で済み準備もそこそこで済むとの観点から、24名の仲間です。シニア卓球クラブ」と称し「花巻市民体育館」で練習を開始したのが始まりです。その後、金銭的な面から無償で提供する会場を、ということで高木に居住する会員がいたことから「矢沢振興センター」に会場を移し会則も規約も無かったので申し合わせ事項を作成し、同時に名称を「サタデイ卓球同好会」と改称し現在に至っております。現在は、新入会員・退会会



員等の変遷を経て18名で極めてフレンドリーな環境で週一回、毎週土曜日の午後1時から3時までの2時間、途中休憩15分を取りながら活動を行っています。

15分の休憩時間には、誰彼となく茶菓子や家で採れた果物等を持ち寄り家庭のこととか孫のこととか、時には旅行のこととか他愛もないことを話題にしながら笑顔で団欒することが暫しの楽しみもなっています。

モットーとして技術は二の次、飽くまで健康保持、この一点にあります。雑談の際、「きんさん・ぎんさん」ではありませんが健康寿命100歳を目指して頑張ろうと意気軒高な方も居れば、それを超えて今は120歳迄が健康寿命なのだと言ふ御仁もおり（女性に限る）、男性会員は唯々聞き入るのみなのである。また、優しい御仁に夫が長生き

私のひまわり

照井 正夫

高齢者支援の事例紹介



高齢者の単独世帯が増えています。1人暮らしで困るこ

とを考えてみませんか。明日は我が身と、取り組んでいる高齢者支援の一例を紹介いたします。

お元気な方ですが、子と夫に先立たれ、1人暮らしに不安を抱えた女性（93歳）から、「お骨になるまで支援してほしい。」と頼まれました。

し妻に先立たれると可哀想だよねーと思ひやりのあるフォローを頂戴し、益々男性会員は絶句・私の生涯は自分が決めることとごとするのであります。

家に帰り眠りにつく前、会員とのやり取りを思い出し、そうはいっても人間の人生は、あまりにも短く、はかなく、弱い。それを噛みしめれば噛みしめるほど、何故か「永遠」や「悠久」といった言葉は、かぎりある命にこそ相応しい気がしてくる。

- ①緊急連絡先、②買物、③預金管理、④入所施設探し、⑤死後の手続きでした。

①の緊急連絡先は、即座に引き受けました。我が家には98歳の義母がいます。突然、救急車のお世話になるかもしれないと考えると同じことです。雪が降る度に、幹線道路までの270mを小型除雪機で通路を確保するのは大変な作業でした。見かねた近所の方に、除雪を助けていただき、とても感謝しています。

②の買物は、付き添って送り、食べたい物を買いました。③の預金管理は、本人が

窓口やATMに行けないときに支援し、将来判断能力が低下しても有効な委任契約を締結しました。

④の施設は、要支援の方なのでケアハウスを見学し、第1希望に入居できて安心しましたが、食事に不満がありました。通院支援の帰り買物を楽しみにしています。

⑤の納骨までを支援するために、死後事務委任契約を締結しました。

1人で生きるには、このように様々な支援が必要になります。成り行き任せにしないで、元気なうちに将来を考えてみませんか。

【編集後記】

一年前には新型コロナ感染者がゼロだった岩手県でも5月4日にはその数が累計1000人を超え、日本全国で猛威をふるっています。大人でさえ面倒くさ

かったり苦痛を感じることもある感染対策ですから、訳も分からなままマスクを着けさせられる幼児の心中はどのようなものでしょう。自粛疲れ、との声も伝

わつてきますが、こころは「継続は力なり」。徹底した感染対策をすることで、かつての日常が一日も早くとりもどされることを願うばかりです。

- 広報委員長 古川 洋一
- 副委員長 松田 好隆
- 広報委員 高橋セキ子
- 多田 英治
- 佐藤 信一
- 菊池 一洋
- 石川 和央
- 佐藤 寿子
- 浅沼美紀子